

ひがしどおり

No. 2 5

# 議会だより



## 主な内容

- ◆ 6月定例会…………… 2～3 P
- ◆ 一般質問…………… 4～5 P
- ◆ 全員協議会・委員会…………… 6 P
- ◆ 視察研修…………… 7 P
- ◆ 議会の動き…………… 8 P

平成20年7月31日

発行 東通村議会

編集 総務企画常任委員会

# 第2回定例会開かれる

平成二十年東通村議会第二回定例会が六月四日から十日までの七日間の会期日程で開かれました。

定例会には村長より、報告案件四件、条例案件三件、補正予算案件二件、契約案件三件、その他の案件二件、議会から陳情二件、議員発議二件が提出され、全日程、全議案が原案どおり可決され閉会しました。

開会初日は、会議録署名議員の指名、議会運営委員長報告後に会期を決定し、村長提出議案について提案理由の説明後、本定例会に受理した陳情二件を所管の委員会に附託五日から八日まで議案熟考のため休会として散会。

九日は、坂本寅藏議員、二本柳貞一議員の二名による一般質問が行われ、続いて報告案件四件を審議後、青森県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を議事日程に追加し、選挙を行いました。

十日最終日は、条例案件三件、補正予算案件二件、契約案件三件、その他の案件二件、陳情二件について所管の委員会報告後、議事日程を追加し議員発議二件を審議し閉会いたしました。

## 議案のあらまし

### ◎ 選 挙

○青森県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の結果

投票総数 十六票、有効投票 十六票、無効投票 〇票  
有効投票中、三津谷公雄 十四票、佐々木寿夫 二票

### ◎ 報 告 案 件

○東通村税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令に伴い、個人の村民税で所得割の納税義務者が学校法人等に寄付金又は金銭を寄付した場合の所得割額の控除のための法整備、老齢等年金給付の支払いを受けている場合に村民税を年金保険者から特別徴収出来る等の制定、株式等の譲渡益・配当等に係る軽減税率適用期限の延長改正に伴う規定の整備等であります。

### ◎ 条 例 案 件

○平成十九年度東通村国民健康保険特別会計補正予算(第四号)

歳入の国庫支出金、療養給付費等交付金及び共同事業交付金と歳出の保険給付費等の確定により、歳入歳出それぞれ五千二百三十五萬八千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ十億三千二百二十八萬九千円とするものです。

○社団法人東通村産業振興公社経営状況報告書

産業振興公社では、去る五月十二日の総会において、その経営状況が承認されており、法の規定に基づき報告するものです。

○東通村土地開発公社経営状況報告書

土地開発公社では、去る五月十六日の理事会において、その経営状況が承認されておりますので、法の規定に基づき報告するものです。

○東通村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

医療制度改革により、平成二十年度から国民健康保険税の賦課基準等が変更となり、新たに発生する「後期高齢者支援金」の税率を設定する必要があることと、基礎課税分について、後期高齢者が国民健康保険から抜けることによる税負担の平準化を図り、税率を見直すため改正するものです。

○東通村手数料徴収条例の一部を改正する条例

戸籍法並びに地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、字句等を改正するものです。

○東通村立東通中学校建設基金条例等を廃止する条例

東通村立東通中学校建設基金については、平成十八年度に東通中学校建設資金に充てるため、電源立地地域対策交付金を原資として設置したものであり、東通村立統合中学校校舎・屋内運動場建設工事

の一部に充当し、基金として当初の目的を果たしたことから廃止、東通村地域産業振興基金については、東通村野牛川レストハウス整備事業、野牛川湖沼公園線道路改良工事等に充当し、基金として当初の目的を果たしたことから廃止するものです。

### ◎補正予算案件

○平成二十年度東通村一般会計補正予算(第一号)

分担金及び負担金・県支出金等の歳入の見込み、事務事業及び事業費が確定するなどの要因により、補正するものであり、既定額に一千九百万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ百億一千九百万円とするものです。

○平成二十年度東通村国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

医療制度改正により、平成二十年度から歳出科目として後期高齢者支援金等が設けられたことから、歳出の科目設定を行うものです。

### ◎契約案件

○野牛地区(石持漁港)地域水産物供給基盤整備工事請負契約について

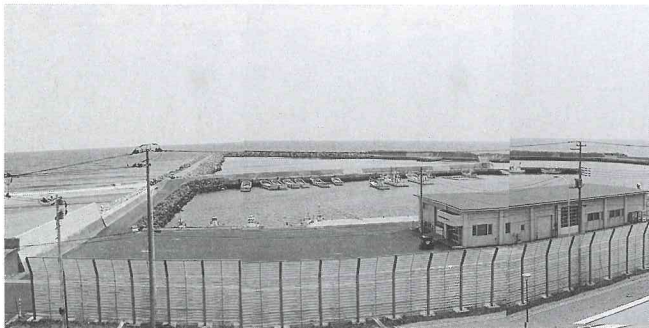
○東通東部地区(小田野沢漁港)地域水産物供給基盤整備工事請負契約について

○(仮称)小田野沢浄化センター建設工事請負契約について

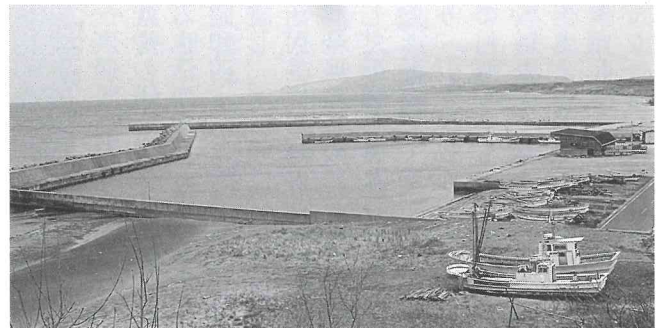
以上三案件については、五月二十七日指名競争入札に付し、石持漁港は、八千二百七十四万円をもって株式会社菊末産業に、小田野沢漁港は九千二百九十二万五千円をもって野村建設株式会社、(仮称)小田野沢浄化センターは、四億九千三十五万円をもって、清水・杉山特定建設共同企業体に、それぞれ落札しましたので、本契約を締結するためのものです。



(仮称) 小田野沢浄化センター



小田野沢漁港(北側より)



石持漁港全景

### ◎その他案件

○青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の一部変更について

構成団体であるふると交流圏民センター事務組合が解散したこと、地方公共団体数の減少及び事務組合規約の変更について関係地方公共団体と協議する必要が生じたので、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を要するものであります。

○青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の一部変更について

構成団体であるふると交流圏民センター事務組合が平成二十年三月三十一日をもって解散したこと及び青森県市町村職員退職手当組合の現議会議員の任期が平成二十年十一月三十日までとなっており、西津軽郡町村会と北津軽郡町村会の合併により当該議員の選出区域及び定数を変更することに伴い、地方公共団体と

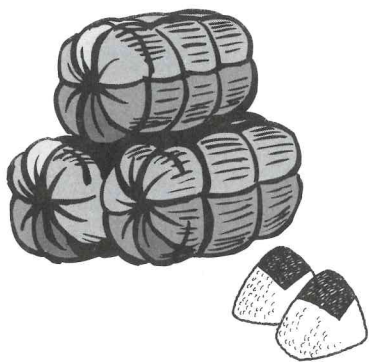
### ◎陳情書

○陳情第四号 米価の安定と生産調整に関する陳情【採択】  
○陳情第五号 ミニマムアクセス米の輸入停止を求める陳情 【採択】

### ◎議員提出案件

○発議第三号 米価の安定と生産調整に関する意見書  
○発議第四号 ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書

以上二意見書は、内閣総理大臣はじめ関係大臣に提出。



協議する必要が生じたことから、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を要するものであります。

# 一般質問

6月9日の本会議において、2人の議員が一般質問を行いました。  
主な質問内容を紹介합니다。

【質問者】 坂本寅藏 議員  
二本柳貞一 議員



坂本寅藏議員

## 防災情報システムの整備について

### 【質問】

防災情報システムの整備についてありますが、現在の防災行政用無線は地域によっては、聞き取りにくいところもあると伺っております。村民の生命と財産を守るために新しい防災情報システムの早期整備が痛感されますが、村長の考えをお伺いします。

### 【答弁者・村長】

防災情報システムの整備についてありますが、村民の安全・安心のために一般の災害、原子力災害を問わず、村民に対して円滑な方法で迅速に最適な情報を提供することが強く求められることとなります。

当村としては、整備にあたって電源立地交付金を活用し、

平成二十一年度以降設計に着手し、設計がまとも次第、整備工事を進めて参りたい。

## 東通原子力発電所東京電力一号機建設に係わる地元雇用対策について

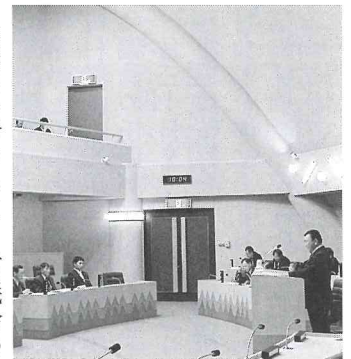
### 【質問】

東通原子力発電所東京電力一号機建設に係わる地元雇用対策についてであります。東京電力一号機の建設計画の着実な推進と地元雇用の拡大についてお伺いします。

### 【答弁者・村長】

東通原子力発電所は村民の就労の場を確保することによる生活の向上と安定を目指し、昭和四十年に村議会が誘致決議し、本計画は、地元雇用や活用等は勿論のこと、村の振興発展のためにも事業者に対して計画どおりに進めるよう強く要望して参つたものであり、引き続きこのような方針で対処するものであります。

これまで様々な場面で議会ともども事業者に対し、強く要請してきたところであり、より一層、積極的な地元活用



と雇用に努めるよう村議会の皆様とともに強く要請して参ります。

### 【要望】

行政の方で、事業者に対して指導なり、徹底し、やって貰いたい。

### 【答弁者・村長】

これまでも積極的に雇用確保の協議をしてきたわけでございます。今後、引き続きこれまで以上事業者に対し、積極的に働きかけて参りたい。



## 村道猿ヶ森蒲野沢線の改修工事について

### 【質問】

村道猿ヶ森蒲野沢線の改修工事についてであります。CO2削減の問題や伐期に入った木の伐採、そして田代地区へ通る林道等の兼ね合いからも林道認定への働きかけと、それらの計画が進んでいるのかお伺い致します。



二本柳貞一議員



【答弁者・村長】

村道猿ヶ森蒲野沢線の改修工事については、事業採択に向け採択要件の適否の調査など県と協議を進めて参りましたが、事業の採択要件が満たない状況にあります。

当該路線は伐期に達した人工林も多く、林業振興上の観点からも重要な役割を果たしており、今後は更にパトロールを強化し、地元住民や森林所有者に不便をきたさないよう、今まで以上に維持管理を図り、通行に支障の生じないよう努めていくこととしております。

【再質問】

村道猿ヶ森蒲野沢線の関係だけでなく、村道だから拡張する計画をもって貰いたい。

【答弁者・村長】

今後、十分地域の方々の意見も聞きながら、進めていかなければならないと思っております。

大型製氷工場及び統合市場建設計画について

【質問】

大型製氷工場及び統合市場建設計画についてであります。東京電力一号機の着工が来年度を予定計画が発表されていることから、製氷工場及び統合市場計画がどのように進行中であるか。また、協議検討中であるかをお伺い致します。



【答弁者・村長】

製氷施設は、組合長会議において、太平洋側・津軽海峡側へ、それぞれ一基ずつの建設要望が強いことも踏まえ、今後場所の決定などの具体的検討協議や既存施設の財産処分などの事務手続きにも日数を要しますが、できるだけ早い着手を考えております。

市場統合についてであります。東通村は、太平洋・津軽海峡沿いにそれぞれ四漁協が散在している地理的特殊要因があることから、流通施設の改善整備や今後の漁協合併再編整備等を見据え、漁協と連携協力しながら取組んで参りたい。

【再質問】

大型製氷の関係だけど、やはり一つにして、煮詰めていった方がいいと思います。

【答弁者・村長】

組合長さん方の十分意見を反映させて、今後協議していかねければならない。



山林（猿ヶ森地区）取得後の村の利用計画について

【質問】

猿ヶ森地区の山林取得後の村の利用計画についてであります。道の駅等の利用計画等、入るべきと思いますが、今後の利用計画をお伺いします。

【答弁者・村長】

猿ヶ森地区の山林の利用については、平成十八年九月議会答弁致しておりますが、山林環境と水資源を保全し、

下流域の放牧場や漁場の環境を保護するためにも地理的条件が良好な一部は、将来の地域振興の利用に資することができるかと判断し、議会においてご理解頂いたところであります。

道の駅構想については、利用者の利便性・集客性の他、運営面など幅広い観点で調査を進めることとしており、それぞれの施設計画が具体的になるまでは、場所の特定はできないものと考えております。当面、現状の自然環境保全として維持して参りたいと考えております。



猿ヶ森地区の村有地

# 全員協議会

★四月十四日(月)

午前十時、村庁会議場にて

◎協議案件

○東通原子力発電所東京電力一・二号機に係る供給計画について

村長挨拶の後、東京電力原子力立地本部立地地域部・半田部長より挨拶及び東京電力平成二十年度供給計画概要についての説明、その後、東京電力東通原子力建設準備事務所・峯所長より詳細な説明がなされ、これまでの東京電力一・二号機の経緯については、平成十八年九月十三日に国の重要電源開発地点の指定を受け、同月二十九日に一号機の原子炉設置許可申請をしており、準備工事につきましては、一昨年十二月四日に敷地造成工事を着手、昨年三月一日に港湾工事に着手し、工事は順調に進んでいるとのことでした。また、現在までの安全審査状況について、平成十八年九月十九日に改定された耐震設計審査指針に基づき、耐震設計を行い、現在、国による安全審査における一次審査中であり、安全審査を進めるに



あたり、設備関係・気象放射線関係・地盤耐震関係の三つの部会を設置し、個別に詳細な検討を行ってきており、今後の手続きは、現在の第一次審査終了後、原子力安全委員会による第二次公開ヒアリング、二次審査を経て、原子炉設置許可となり、本格着工の運びとなることとあり、議員からは地球温暖化、CO<sub>2</sub>問題対策としても、一日も早い原発工事着工について要望がだされました。

東京電力一・二号機に係る供給計画については、中越沖地震発生に伴い、得られる知見の反映などを適切に実施していくとの考えの下、また国

の安全審査の進捗が遅れてきていることを考慮し、本格着工並びに営業運転開始を一年繰り延べするとのこととありました。

これに対し、議員からは一年繰り延べされることは、村の行財政計画においても大変厳しい状況に陥ることから、これ以上遅延することないよう、早期着工を強く要請し閉会いたしました。



## 常任委員会から

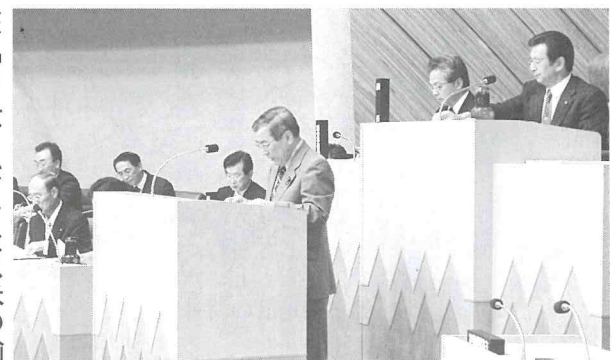
### ☆ 産業建設常任委員会

《六月四日(水)

午前十時三十五分開会》

※「米価の安定と生産調整に関する陳情」

国際的な穀物相場の高騰は、原油価格の高騰とも相まって、国民生活に重大な影響を及ぼしており、世界最大の食料輸入国である日本は、食料自給率を向上させることが緊急の課題となっています。重要な生産基盤である水田を守り、有効活用を図ることは、自給率を向上させる上で欠かせないという観点から、本陳情書は採択すべきものと決しました。



※「ミニマムアクセス米の輸入停止を求める陳情」

米や穀物の価格高騰の原因は、大量の投機資金が穀物市場に流れ込み、異常な高騰を引き起こしていることにあります。現在、国民が食べることを望まないミニマムアクセス米が毎年、七十七万トンも輸入されており、国際的な価格の高騰に加担することにならざるを得ない。国際的に米や穀物の供給が逼迫し、価格が高騰するという食糧事情の急変のもとで、従来の枠組みにとらわれることのない対応が必要であるとの観点から、本陳情書は採択すべきものと決しました。

# 視察 研修

去る四月二十二日(火)から二十五日(金)までの日程で、「地質環境の長期安定性についての仕組みと高速増殖炉もんじゅの仕組みについて」を目的に日本原子力研究開発機構東濃地科学センター瑞浪超深地層研究所及び日本原子力研究開発機構高速増殖炉研究開発センターの視察研修を行いました。

## 《瑞浪超深地層研究所》

瑞浪超深地層研究所では、地質環境の評価のための体系的な調査・解析・評価技術の基盤の整備と、深地層における工学技術の基盤の整備を目的とした地質科学研究を行っています。そのため、主に花崗岩を対象として、岩盤の強さ、地下水の流れ、水質などを調べたり、実際に地下千メートル程度まで立杭を掘削し、水平坑道を設置して三つの段階に分けて「地層科学研究」を進めています。その研究のうち、第一段階の研究として人工的な地震を利用し、地質の構造を調べる。第二段階として、研究坑道を掘削調査しながら、岩石や地下水にどの

ような影響を与えるか調査。第三段階として、坑道を利用し、地下深くでどのような現象が起こっているかを研究しているとのことでした。現在、坑道の深さは二百メートルで、計画としては、地下千メートル程度までの地質環境調査を推進することであり、又、安全管理と環境管理、国際的共同研究と技術協力そして地域交流と情報発信等を積極的に推進しているとのことでありました。



## 《高速増殖炉研究開発センター》

「もんじゅ」のしくみは、燃料のプルトニウムが燃えて(核分裂)発生した熱を取り出したり、燃料を増やすためにナトリウムを使います。発生した熱は、ポンプで循環される第一次系のナトリウムに伝えられ、その途中にある熱交換器でその熱は、次の第二次系のナトリウムに伝えられます。その循環された熱は、蒸気発生器で水に伝えられ、蒸気を発生し、タービンを回し、発電機で電気が起こるとのことでありました。議員全員、

センター内にあるナトリウム取扱基礎実験室において、空气中でのナトリウム燃焼状況を観察し、その状況について説明を受けました。また、エネルギー資源は、現在の使用量のままでは、石炭を除いておよそ半世紀で使い切ってしまう、一方、世界人口は増え続け、二〇五〇年には約九十億人に達すると予測されており、エネルギー需要も著しく増大することが予想され、「高速増殖炉」では電気をつくる傍ら、現在ほんの一部しか利用されていないウラン資源をプルトニウムに替えて有効に利用でき、実用化すれば数千年のエネルギーが確保できるとのことでありました。高速増殖炉「もんじゅ」が一九九五年十二月、ナトリウム漏えい事故後、プラントを停止していましたが、その後、二〇〇五年九月に漏えい等に係る改造工事を開始しています。二〇〇六年十二月からは、改造した設備の健全性を確実に、また、地元の理解を得て、早期(平成二十年度)の運転開始を目指し、工事確認試験、プラント確認試験、性能試験、運転員・保守員への教育研修などの取り組みを実施しているとのことでした。



## 東通中学校第1回体育祭



## 議会の動き

4月	4日	下北半島振興促進連絡協議会会計監査
	7日	東通村立東通中学校開校式・入学式
	14日	議会全員協議会
	21日	下北半島振興促進連絡協議会総会
		下北総合開発期成同盟会総会
22日	議員視察研修（～25日）	
5月	12日	青森県新幹線建設促進期成会総会
	15日	青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議
	20日	全国町村議会議長・副議長研修会（～21日）
	27日	全国原発議長会役員会・総会
	29日	議会運営委員会
	30日	下北郡町村議会議長会臨時総会・下北林活議員連盟理事会
6月	3日	青森県町村議会議長会臨時総会
	4日	村議会第2回定例会招集
	9～10日	議会本会議
	16日	大間町議会公共施設配置計画策定特別委員会視察来庁

## 行政・議会の生の声を傍聴してみませんか？

○定例会は、年4回（3月、6月、9月、12月）開かれます。

○臨時会は、必要に応じて開かれます。

お問い合わせは、議会事務局（☎27-2111 内線412・413）



## 編集後記

平成二十年第二回定例会が四日開会され、青森県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行い、提出議案十四件、議員発議二件を議決し、十日閉会しました。

産業建設常任委員会に引き続き、総務企画常任委員会が四月から六月までの議会の動きをまとめました。

今後も引き続き、議会の役割として、公正で、客観的な記事、地域住民に親しまれる、読みやすい、わかりやすい議会だよりづくりに努めますので、村民皆様の暖かいご指導、ご協力をお願い申し上げます。

次回は、教育民生常任委員会の担当です。